



お茶の京都

Discover
Premium
Green

「お茶の京都博」お茶壺道中&セレモニー

【日時】 2016年11月3日(木・祝) 15:00~16:00

【会場】 丸ビル マルキューブ
(東京都千代田区丸の内2-4-1 1階)

【主催】 お茶の京都博実行委員会

(構成: 京都府・山城管内12市町村・(公社)京都府茶業会議所・京都府農業協同組合中央会 ほか)

■丸の内仲通りプロモーションイベント
10月31日(月)~11月2日(水) 12:00~14:00 日本茶インストラクターが玉露・煎茶をふるまいます。

京都府では、宇治茶の魅力発信による地域の賑わいを創出するため2017年4月から1年間にわたり、京都府南部山城地域の12市町村を舞台に「お茶の京都博」を開催することとしており、このたび事前告知イベントを東京・丸の内にて行います。このイベントでは江戸時代に約240年にわたり行われたお茶壺道中を現代風に再現。

東京「丸ビル」内マルキューブにて、セレモニーに合わせて、宇治茶のふるまいや芸妓・舞妓の舞踊を行います。お茶の京都の魅力を感じていただければ幸いです。

ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合せの上お越しくさせていただきますことを、心よりお待ち申し上げます。

式次第

お茶壺道中 (14:30~15:00) : 丸の内仲通り

当日京都を出発した12市町村の代表扮する「お茶壺道中」が、丸の内仲通りを練り歩き、セレモニー会場へお茶壺を運んでまいります。

セレモニー (15:00~16:00) : 丸ビル マルキューブ

- 芸妓舞妓 舞踊 <宇治茶ご提供: (公社)京都府茶業会議所>
- お茶壺道中入場
 - ・お茶壺の受渡し
- ご挨拶
 - ・お茶の京都博実行委員会 実行委員長 (代理) 京都府 じょうふく たけはる 城福健陽副知事
副実行委員長 (公社)京都府茶業会議所 すぎもと さだお 杉本貞雄会頭
- 玉露のふるまい
 - ・京都府茶生産協議会会長 よしだ りいち 吉田利一氏
- 呈茶 ぎょうてい かなざわ そうたつ
 - ・裏千家業躰 金澤 宗達 先生

※セレモニー終了後に芸妓・舞妓の撮影会を行います。



会場イメージ図

※プログラムの順序が変更となる場合がございます。

お茶壺道中について

わらべ歌「ずいずいずっころばし」に“茶壺に追われてトピンシャン 抜けたらドンドコしょ”とうたわれた「お茶壺道中」は、寛永9（1632）年に制度化されたといわれ、江戸時代を通じて将軍や幕府御用の宇治茶運搬のため江戸と宇治を往復した行列です。

幕府の諸役人による行列は、空の茶壺をもって毎年4・5月ごろ江戸を出発し、東海道を宇治へ向かいました。宇治では、宇治の茶師を取りまとめる御茶頭取である上林峯順（六郎）家と上林竹庵（又兵衛）家をはじめ由緒ある御茶師たちが宇治橋東詰で出迎え、御茶壺に石臼で挽く前のお茶の葉（碾茶）を詰めました。封印された御茶壺は、中山道から甲州街道を通り甲州谷村（現山梨県都留市）へ向かい、ここで秋まで保管されましたが、元禄3（1690）年以降は、東海道を通過して直接江戸へ運搬されるようになりました。お茶壺道中は、慶應3（1867）年まで続けられました。

今回は東京の丸の内仲通りにて、お茶壺道中を実施、丸ビル内のマルキューブにてお茶壺を展示します。



国立国会図書館蔵

会場イメージ

